

イネ科通信 27

メヒシバ・コメヒシバ

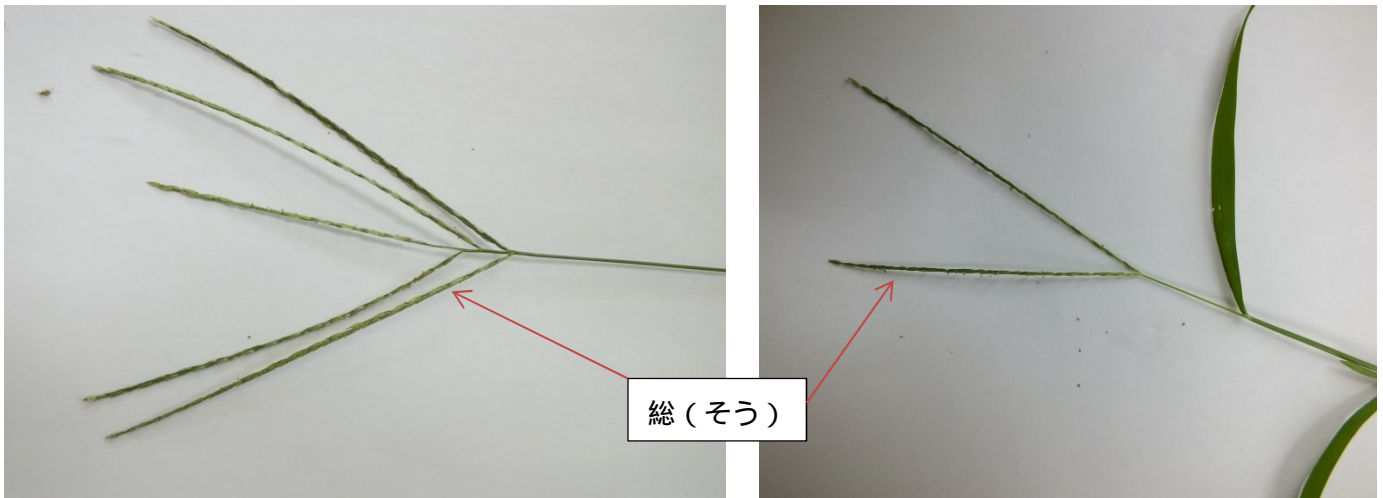
(2013/09/16)

メヒシバ

道端や畑地によくみられる 1 年草です。稈(茎)の高さ 40 ~ 80cm 位で、葉鞘には軟毛がまばらに生えます(無毛のものもあります)。稈の節部より発根しながら広がります。稈の先端部に総が 2 ~ 3 段に輪生します。また花軸の翼はざらつきます。これに対してコメヒシバ花軸の翼はざらつきません。左の写真はメヒシバです。右はコメヒシバです。

コメヒシバ

人家や街角の陰地などのやせた土地に生えます。稈は倒伏し、節部から発根しながら広がります。稈の高さは 25 ~ 40cm ぐらいです。花序は 2 ~ 4 個の総からなり、稈の頂上の 1 点から手のひらのように広がります。



(左の写真)メヒシバの葉鞘には通常、軟毛が生えています。この写真では葉身にも軟毛が見られます(葉鞘に軟毛のないものもあります)。(中と右の写真)コメヒシバとメヒシバの総を比べてみました。花軸に長短 2 種の柄をもつ小穂が双生します。見やすくするため小穂の枝を広げてみました。右端の写真です。ルーペで覗いてみるとよくわかります。メヒシバもコメヒシバも上方小花は稔性で下方小花は不稔です。

小穂の第 1 包穎 (G 1 : 第 1 包穎、G 2 : 第 2 包穎、L : 護穎、F : 小花)

小穂は卵形扁平で 1 小花からなる、第 1 包穎は微小(0.25 ~ 0.5mm)、第 2 包穎(1.2 ~ 2.4mm)と護穎は同形で芒はありません。護穎の縁に粗毛があり、おしべ 3、めしべ 1 からなります。

